

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

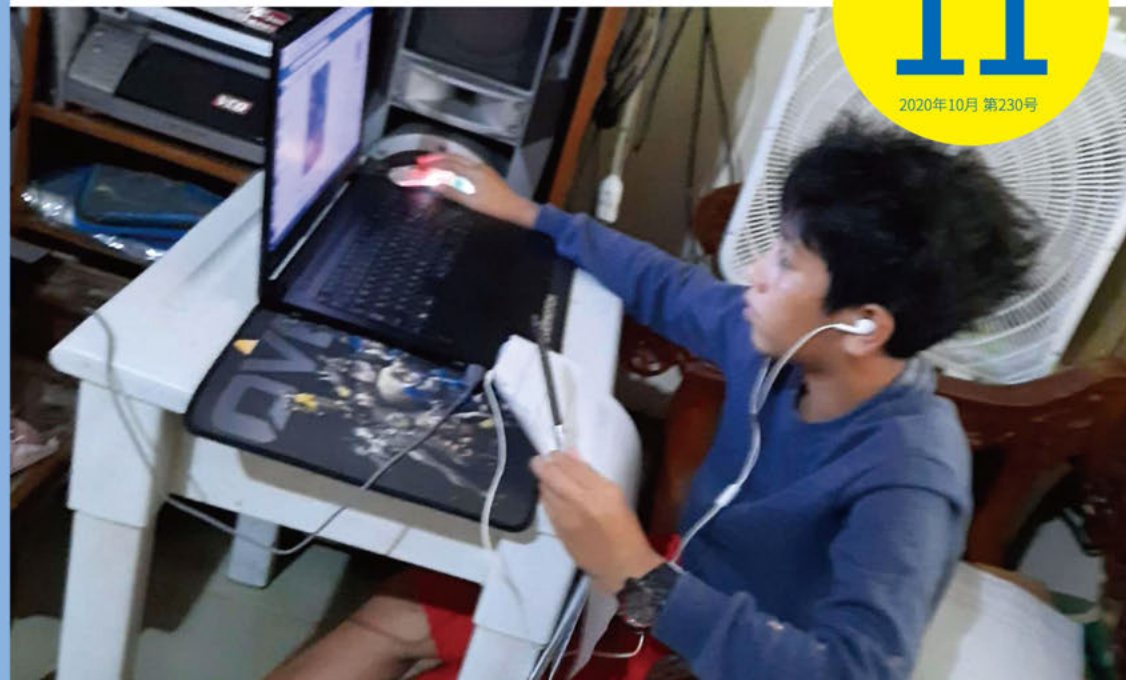
私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



オンライン授業を受けている様子(フィリピン)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

このニュースレターで毎号、皆様にお伝えしていることではありますが、世界のコロナ騒動は、いまだに弱まる気配をみせません。日本ではあまり情報が入ってきてはおりませんが、各国では様々なかたちで深刻さを増しているようです。

私ども孤児院のあるカンボジアやフィリピン、ザンビアでも学校の問題をはじめ、ザンビアでは治安問題の悪化が心配されています。

いまのところ、私共孤児院と、その子供達は、皆様の御支援等によって守られていることを御報告させて頂きたいと思えます。その中で、カンボジア孤児院では先日、カンボジア政府の要請を受け、女の子を1人受け入れることになりました。年齢等は正確には分かりませんが、まだ幼児のようです。

コロナ問題が進む中、助けなければならない子供達の数はさらに増えていくことが、当然予想されます。

最後には、いつも同じお願いで甚だ恐縮ではありますが、何卒、これからも皆様の御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの方の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。10月に入って、さらに他の学年の子ども達の授業再開も始まりました。各校は、政府機関の視察を受けて、生徒達が3密を避けて学びが出来る体制の確認がなされた後、授業再開となっています。各学年ともに、午前か午後の授業に分けられて、半日のみの授業を受けて帰って来ています。また、カンボジアは10月から新学期になりますが、現在補習授業を受けている9年生と12年生以外の学年の子ども達は、全員進級出来て新しい学年で学ぶことが出来ています。これは、本人達はもちろん、私達スタッフ一同にとっても大変嬉しいことでした。また、彼らをご支援くださっています皆様に、このような嬉しいご報告が出来ますことを心から感謝しています。学校再開になる前の9月には、ずっと何処にも行くことが出来なかった子ども達の為に、遠出は難しい状況でしたから近場のプノンペン市内に遊びに出掛けました。思った以上に楽しく遊べる場所が見つかり、とても楽しく過ごすことが出来ました。皆様のご支援に、心から感謝しています。



半日ぐらいでしたが、楽しく遊んできました!

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様の暖かいご支援を心から感謝いたします。フィリピンでは10月5日から学校の授業が始まりました。教育省はモジュラーとインターネットの双方を用いた授業をスタートさせるために、いろいろな準備と努力をしてきました。何よりも子どもたちを感染から守ることを第一に考えた結果であり、親たちも、子どもたちが授業を受ける様子を近くで見ることが出来ます。そう言う点では、この教育システムも良いと思われれます。現在に至るまで、送って頂いたPCの内、最初に届いた4台以外はまだダバオに到着していません。子どもたちにとっては今すぐに必要な物ですが、到着を待つしかありません。またPCの他にも学用品等の必要があります。PCによってはカメラが内蔵されていない物もあり、週2、3回行われる先生と子どもたちのオンラインセッションに参加するためには外付けのカメラが必要です。これらのためにも是非皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



オンライン授業を受けている様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか?)
10月に入って、雨がパラパラ降る日が続きました。ようやく雨季の到来です。今年こそ十分に降って、停電が終わってくれる事を期待しています。学校が再開され、子どもたちが毎日元気に通ってきている姿は本当に嬉しいものですが、ひとりの生徒がマラリアが重篤化し、入退院を繰り返して、復学できていません。もともとHIV陽性な上、きちんと食事がとれない日々が続く、抵抗力が落ちてしまっていた中でマラリア感染は命に関わるほど深刻です。唯一の保護者である祖母も、高齢でしかも軽度の知的障害があり、生活そのものの基盤が、本当に不安定なケースです。やはり、24時間保護できる孤児院ハウスも必用だなあと、痛感しています。現在は経済が厳しいこともあり、20人の孤児への教育支援活動、孤児家庭への食料援助が中心になっていますが、こちらにもトイレの増設、キッチン食堂の建設も急務になっています。また机と椅子の必要もあります。約25万円程ですが、皆様のご支援をお願い致します。



机と椅子が必要です!

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。例年では8月末頃から雨が降り出すのですが、今年は全く雨が降らず、湿度が10%切るか切らないかの状態です。先週は最高気温が43度まで達しました。雨が降ってほしいと深刻に願っています。先日は私の身分証明書の有効期限が10月上旬で切れてしまうため、連邦警察署へ行きました。アラサトゥーバは人口20万人のかなり大きな都市ですが、来訪者は私以外に誰1人いなくて、警備員と内勤の係員が1人で勤務しておられました。コロナ禍のため、身分証明書などの期限が切れたとしても、通常なら罰金が加算されていきますが、その時計が一時的に停止している状態だそうです。コロナ禍が収束した後で、まだその時計が動き出すとのことで、しばらくは連邦警察署のホームページに注目している必要があります。現在、保健省のホームページではコロナウイルスの感染者数はブラジル全体で500万人、死者数15万人をこえました。しかし経済状態も維持するために、商業施設はマスクと検温の義務で、飲食関係を除き、ほぼ封鎖前の状態に戻りつつあります。このような状況ですが、皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



グアララスにてスタッフの松本弘子さん